# 「山月記」 研究

1

李徴が変身するものが「虎」である必然性について

# この授業の進め方



1グループ3人とし、その3人がそれぞれ次の役割に分かれる

役割A　李徴が変身するものは「虎でなければならない」という主張をする

役割B　李徴が変身するものは「虎でなくてもよい」という主張をする

役割C　AとBの主張を聞き、どちらが説得力があるかを判定する

AとBの主張およびCの判定をもとに、グループとしての立場を明確にする

# タイムスケジュール



| | | |
|---|---|---|
| 1 | 役割分担 | 5分 |
| 2 | 自分の役割に従ってワークシートに記入する | 15分 |
| 3 | AとBが発表し、Cが判定する | 5分 |
| 4 | 3人でグループの立場を確認し、ワークシートにまとめる | 5分 |
| 5 | グループごとに発表する | 10分 |
| 6 | 振り返り（ワークシート記入） | 5分 |

大切なこと！！！



ワークシートを書くとき、発表するときは

# 根拠をしっかり示そう

## 発表の仕方



私たちのグループは、李徴が変身するものは「虎でなければならない」「虎でなくてもよい」という立場です。

その根拠は「　　」ということです。

<table>
<tr><td>教科(科目)</td><td colspan="2">現代文Ｂ</td><td>授業者</td><td>青ちづる</td></tr>
<tr><td rowspan="2">日時</td><td>平成　２８年　７月　４日（月）第２限</td><td>対象・場所</td><td>２年７組・教室</td></tr>
<tr><td>平成　２８年　７月　４日（月）第６限</td><td>対象・場所</td><td>２年８組・教室</td></tr>
<tr><td>単元<br>本時の位置</td><td colspan="3">「山月記」中島敦<br>全１２時間中の１２時間目</td></tr>
<tr><td>本時の過程</td><td colspan="3">１グループ３名とし、マイクロディベートの形式で「山月記」の研究を行う<br>テーマ「李徴の変身するものが虎である必然性について」<br>はじめに、以下のような流れをパワーポイントで示しておく。<br>１　グループの３名をＡ「李徴が変身するものは虎でなければならない」、Ｂ「李徴が変身するものは虎でなくてもよい」、Ｃ審判の三つの役割に分ける。役割は機械的に割り振る。<br>２　ＡとＢが、本文の記述を根拠としながら、自分の主張をする。両者の主張を聞き、より説得力のある方はどちらかを審判が判定する。<br>３　審判が選んだ立場をグループの立場とし、全員がその立場で根拠を固め、発表に備える。<br>４　グループごとに発表する。この時、答え方の定型をパワーポイントで示す。<br>５　すべてのグループの発表を聞き、まとめとして、自分個人の主張を文章にまとめる。</td></tr>
<tr><td>反省</td><td colspan="3">進行はスムーズで、生徒の取り組みも積極的であった。こちらとしては、特に、「根拠をあげる」という点の重要さを伝え、生徒達も本文から根拠を探す努力をしていた。しかし、それを文章化する力の個人差が大きく、指導の継続が必要であると感じた。発表は、定型を示すことで、とまどうことなく発表でき、聞く態度も良好であったが、原稿を読むだけというような形の生徒がほとんどであるので、その点も継続して指導していきたい。</td></tr>
</table>

# 「山月記」研究　ワークシート

二年　　組　　番（　　）

班員

☆李徴が変身するものが「虎」である必然性について考えよう

役割A（　　）

主張「李徴が変身するものは虎でなければならなかった」

根拠

役割B（　　）

主張「李徴が変身するものは虎でなくてもよかった」

根拠

役割C（　　）

判定　李徴が変身するものは

**グループの結論**

李徴が変身するものは

根拠は

**まとめ**

他のグループの意見を聞いて**自分の意見**をまとめよう

李徴が変身するものは

根拠は

メモ欄